



# ケンカしないで いい案 出そう!



2025年12月12日、本多公民館ホールに、お子様からシニア年代まで、一堂に会し、寸劇や事例を通して、日常での心地よい会話について、皆で一緒に考えました。

**前半は、**恒例のウィンウィン劇場。

今回は、中3の娘聖菜とパパとママが登場する「大原さんちのお話」。夫婦の会話がかみ合わない、塾をやめたいと言う娘に親の考えを押し付けそうになる、など、日常でありがちな場面を再現しました。

最近ゴードンメソッドを学んだ聖菜の本音の叫びに、ハッとする両親。昔、親業を学んだママも「考えの違う相手の話に耳を傾けてみるのが、分かり合うコツ」だったことを思い出しました。「もっと娘の話を聞ける親になりたい」と思った夫婦は、今度一緒にウィンウィンサークルに行ってみることにしました。



**後半は、**4-5人の小グループに分かれて、事例を読み合い、感想を自由に話しました。

さらに、「家族皆が、大晦日と元旦を楽しく過ごす」アイデアを短時間でたくさん出し合い、発表しました。ケンカしないで話し合うコツを体験しました。



## アイデア出しを楽しむコツ

- ・頭を柔らかくして
- ・たくさん案を出す
- ・どんな案も 今は批判や評価をしないで 書き留める



## 【参加者アンケートから】

- ・寸劇を楽しみにして参加しました
- ・視覚、聴覚に刺激を受けて、わかりやすく楽しかった
- ・聞くことの大切さを再認識した
- ・子育て中に、傾聴できていたか…私の考えを押し付けていたように思う
- ・今からでも、夫や大人になった子供たち、友人関係にも応用できるもの、取り入れたい
- ・「相手を責める前に、自分の気持ちを整理する」ことの大切さを感じた
- ・一人一人、違うし、同じ人でも成長段階で変化もするので、その時その時で、自分のことも相手のことも、話して確認し合っていくことが大事だと思った
- ・グループの方たちと話し合うことで、色々な意見を聞くことができ、有意義な時間だった
- ・事例の読み合わせをして、子の立場、親の立場の気持ちを体験できたことが、よかった
- ・アイデア出しを通して、否定されずに自由に発言できる場の安心感、楽しさを実感した